

施設での看取りを希望されるご家族様へ

やすらかな 看取りのために



社会福祉法人 弘心会



特別養護老人ホーム

ほうらい苑

安らかな看取りのために

人生最後の時を施設で迎えられるか、病院で迎えられるか…答えのない問いに悩んだ末に施設での看取りを希望された方も多いと思います。家族や、大切な人たちの「死」や「人生最後の時の過ごし方」について看取りをご検討される際はぜひこちらをご参照ください。

何かのご縁で当施設をご利用いただき、「人生最後のとき」を入居者様はじめ、ご家族様が安心して施設でのお看取りができますよう、ご本人が旅立たれるときの症状の変化や、施設での看取り介護の現状を綴ったのがこのパンフレットです。

施設で看取りをご希望された際でも、ご家族様のご協力がその方にとってより安らかな最後となりますので、旅立ちに至るまでに見られる身体の変化をあらかじめ知り、理解しておくことが大切になってきます。(施設からの現状報告は必ずさせていただきます。)その変化は全ての方に見られるわけでも、また、必ずしも順序通りに起こるわけでもありません。大切なのは、これから説明する変化が旅立ちに至るまでの自然な経過であるという事です。

(当施設の介護・看護スタッフは看取り介護に関する研修を受けています)

看取りに関する事で分からない事や、不安な事はいつでも嘱託医・看護師・相談員・ケアマネージャーにご連絡ください。

1 旅立ちが近づいている時の状態

1 目を閉じ、眠っている時間が多くなります。

→ 体力が低下し、起きていることが出来なくなります。

2 食欲が低下し、食べたり飲んだりする量が減り、時には全く食べられなくなります

→ ご本人が食べたいと希望されるものを召し上がっていただきます。

(無理に食べさせる事はいたしません)

3 時には穏やかでなくなり、意味不明な言動や大声をあげる状態になることがあります。

→ そばに付き添い、穏やかに優しく語りかけたり、見守ります。

ご本人やご家族の希望があれば、好きな音楽を流す事も可能です。

4 便や尿の失禁が見られます。

→ 手足の筋力が落ちるように、便や尿を排泄する筋力も低下するために失禁が起こります。状況に応じて、排泄介助に入らせていただきます。

- 5 唇や皮膚が乾燥します。唾液や痰が溜まり呼吸の際にゴロゴロという音が聞かれます。また尿量が減少し、時には全く出ないこともあります。
→ 水分量が少ない為、脱水の状態です。痰が絡んで苦しそうな時は吸引をします。口内が乾燥したら、濡らしたガーゼや綿棒等で口内を湿らせたり、ゼリー等で水分補給に努めます。
- 6 手足が冷たくなり、白～紫色になってきます。
そして身体の下になっている皮膚は暗紫色になることもあります。
→ 血液の流れが悪くなってきています。定期的な体位交換の他、手足の冷たさが気になるときは、毛布等で調整させて頂きます。
- 7 呼吸は変化しやすく、不規則になります。
→ 呼吸がしばらく止まったり、あごを持ち上げるような呼吸はお別れが近づいているサインです。最後にお会いしておきたい方がいましたらご家族の方で連絡を取ってください。
- 8 呼びかけに反応がなくなります。
→ 耳の機能は最後まで保たれると言われています。ご家族の声掛けはご本人に聞こえています。思い出や感謝の言葉をかけてください。
- 9 お看取り後に着る服のご準備をお願いします。
→ 囑託医が死亡診断書を発行します。当施設職員がエンゼルケアをさせていただき、ご本人もしくはご家族が着せたいと思った洋服(着物)に着替えさせていただきます。施設でも着物のご用意はありますが、その際は有料となります。

当施設で看取りをされたご家族のお声

「良かった」というお声と「どちらとも言えない」というお声の両方を頂戴しています。ご参考になるか分かりませんがいくつかご紹介させていただきます。

- 家族で話し合い、施設での看取りを決めたのですが、その一方で様々な葛藤があったのも事実です。迷いがある中、私たちを救ってくれたのは死を目前に前向きに生きる母の姿勢と、スタッフの皆様のサポートでした。心から感謝しています。
- 施設に宿泊出来る事を職員に教えてもらい、最後に母が息を引き取る際、立ち会えたことが嬉しかったです。施設の方の協力があったからだと思います。ありがとうございました。
- 家族の面会は何時でも可能だったので、孫やひ孫に囲まれて楽しくお部屋で一緒の時間を過ごす事ができたのが良かったです。

- おばあちゃんの状態をいつも職員の人たちが教えてくれて、常にどんな状態なのか分かって良かったです。そして、最後まで綺麗にしてくれて嬉しかったです。
- 母の持病の癌が悪化しも、入院したくないという本人の意思を尊重し、痛みのコントロールをしながら最後まで施設で過ごす事ができました。本人の希望に添えた事が良かったです。
- 突然親戚の方が面会に来てくださり母の様子を見たとき、「こんなに弱ってきているのに病院に連れて行かないのは可哀想だ」と強く言われ、母の「このまま静かに暮らしたい」という思いを聞いていても、不安になり悩みました。最後に施設で同じように入居されている方々やスタッフの皆さんに見守られ安らかに息を引き取った母を見て、本当に良かったと思う事が出来ました。

さいごに

私たち職員は「あなたの大切な家族は 私たちにも大切な家族です」という法人理念に沿って日々ほうらい苑で生活されている方々を本当の自分たちの家族のように思いサポートをさせていただいています。人生最後の時間をここで過ごしになられるご本人やご家族のご意向を全て叶える事は難しいかもしれませんが、出来る限りのご要望には添えるよう、精一杯サポートさせていただきます。

これまで以上に当施設が「終の棲家」としての役割を果たせるよう、充実したケアサポート体制を整え、質向上に努めてまいります。



保険適用外費用について

以下の費用については、保険適用外となり、入居者様（ご家族様）のご負担となります。

- 家族食事料 540 円（1食につき）

- 貸寝具料 216 円（1日につき）

- 1F 休憩室利用料 540 円（1日につき）
（PM6：00～翌 AM9：00）

- 貸ベット料 216 円（1日につき）

- エンゼルケア料 8,640 円(着物あり)
4,320 円(着物なし)

- 家具処分代
タンス類 1,080 円（1個につき）
衣装ケース・小物類 540 円（1個につき）

上記事項の保険適用外費用について承諾し、自己負担が発生した場合、支払うことに同意します。

平成 年 月 日

入居者様氏名 _____ 印

申込者様氏名 _____ 印

(続柄)

ご不明な点につきましては、5F 事務所までお問い合わせください。

特別養護老人ホーム ほうらい苑